



総社市長
片岡 聡一
KATAOKA SOICHI



2015 新春対談

いよいよ合併10周年 決断の年

片岡聡一総社市長と剣持堅吾総社市
議会議長が、合併10周年を迎える平成
27年の総社市を展望。地方創生が叫ば
れるなか、総社市のビジョンを熱く語
り合いました。



総社市議会議長
剣持 堅吾
KENMOTSU KENGO

市長 あけましておめでとう
ございます。

議長 おめでとうございます。ま
す。本年もどうぞよろしく
お願いします。

市長 昨年は、「自ら考え実
行する総社市」をテーマ
に、総社市のセカンドス
テージへ向け駆け抜けた1
年でした。今年も市民の幸
せのために総社を盛り上げ
ていきたいと思えます。

議長 議会も市民の皆さんの
声に応えたいという思いで
励んでいます。総社がますます
活性化し、市民の幸せ
につながるよう、お互い切
磋琢磨しながら前に進んで
いきたいと思います。

変えることを恐れず チャレンジする

市長 議会では市民の声を聴
く場として議会報告会を
行っていますね。

議長 議会改革の一環とし
て、昨年は議会報告会と県
下では初となる議会フォー
ラムを開催しました。

市長 議会が自主的に改革の
アクションを起こしている

ことに敬意を表します。こ
れからも改革にトライし、
「さすが総社市議会」とい
われる先頭ランナーになつ
てほしいと思っています。

議長 議会フォーラムには多
くの市民をはじめ、県内の
議会関係者に参加していた
できました。議員定数や報
酬のあり方についてさまざ
まな意見をいただきました
ので、これらを参考に検討
を重ね、結論を出していき
たいと考えています。

市長 議会改革では、すでに
定着している一般質問での
一問一答方式。この方式に
なり、議会の場で物事が決
まっていくなか、緊張感とスピ
ード感が生まれましたね。

議長 議員も勉強がかなり必
要になります。議論が市
民に分かりやすくなったと
思います。

市長 お互い討論能力が試さ
れます。市民の市政への関
心がさらに高まるよう、こ
れからも変えることを恐れ
ずチャレンジし、レベル
アップできればと思っています。

「まち・ひと・しごと 創生」の戦略

市長 昨年11月に地方創生関
連2法案が成立しました。

その前の10月には、「ま
ち・ひと・しごと創生本
部」で、私が全国市長会を
代表し、再生農地等価交換
制度や英語特区、就労あっ
せん権の移譲など、総社市
のオリジナル政策を提言し
ました。この2法案は総社
市の提案も踏まえられたも
のだと自負しています。

議長 今年は地方創生が大き
なテーマになりますね。

市長 基礎自治体の政策立案
能力が問われているとき。
総社市が人口や出生数、雇
用を増やす政策リーダーと
なってやっていきたいと思
っています。

議長 現在総社市では企業誘
致や立地が進み、雇用数が
大幅に増加しています。こ
の企業誘致政策を議会とし
ても高く評価しています。

市長 今後も地理的優位性や
良質な水といった高いポテ
ンシャルを発揮し、進めて

いきたいと考えています。

議長 議会には昨年50件を超
える視察が来ました。雇用
をはじめ人口や出生数を伸
ばしている総社市の政策
が、人口増加に躍起になつ
ている自治体に注目されて
いる証だと感じています。

市長 人口、出生数が増えて
いる総社市は、減少してい
る自治体がほとんどとい
うなか、善戦していると思
います。「子育て王国そう
じや」を掲げた子育て支援
制度の充実と企業誘致の推
進がシナジー効果（相乗効
果）を生み出しています。

議長 3年後には雇用が新た
に約3000人増加すると
聞いていますが。

市長 その見込みです。しか
し、雇用はあっても人が足
りないといった新たな問題
が出てきています。人がい
ないと企業が来なくなる。
「雇用を確保する」問題に
真剣に取り組まなければと
思っています。解決するた
めには、定住の促進策と雇
用の場がない他市との連携
が必要だと考えています。